

一次産業振興と定住促進に 多目的施設オープン

東日本大震災の津波により壊滅的な被害を受けた宮城県東松島市宮戸地区に、平成29年5月に復興再生多目的施設「セルコホームあおみな」がオープンした。

「セルコホームあおみな」は、「青い港」「会おう」「みんなと」の意味が頭文字に込められ、市とセルコホーム（株）とが命名権契約を結び名付けられた愛称である。



施設の役割の一つ目は、宮戸地区市民センターに観光案内所や足湯施設、牡蠣焼き施設等が併設された住民の交流やイベントに活用される「地域連携販売力強化施設」。

二つ目は、宿泊施設を設置し、新規就農希望者が長期滞在し農業技術等を研修し、地域農業の振興と定住促進を目的とした「新規就農者技術習得管理施設」。

三つ目は、太陽光発電、木質ボイラー等の再生エネルギー資源を利用した熱源等供給施設と、観光客向けの温室ハウスや、農林水産物の乾燥体験加工ができる「農林水産業体験施設」となっている。

付近には日本三溪の一つである嵯峨溪もあり、同施設には遊覧船の待合所や特産品の販売をする売店も併設しており、各種イベントも開催されているので、近くに来た際は是非お立ち寄り下さい。